

2014年、今年も要求実現 に全力でとくみます

昨年は市議選、参議選のご支援・ご協力ありがとうございました。今年も自公政権の暴走ストップ、市民の暮らしを守るために、がんばります。

社会保障改悪法は撤回を

市議会一般質問のつづき



12月6日、福岡議員は、
●社会保障改悪プログラム
法案撤回を要求（質問前日の夜、参議院本会議で強行採決）、企画部長は「法

案の撤廃は考えていない、住民生活、地方財政・組織に大きな影響を及ぼす、自治体と協議し、意見が確実に反映するよう求める」と答弁。

●要支援者の介護保険外しについては、福祉保健部長は「事業所の受け入れ体制、委託方法等、今後国から指針が示される、その動向、他都市の状況を注視していく」



●難病対策については、
「国・県の動向を中止し情報収集に努め、難病患者が混乱しないよう速やかな周知と相談体制の充実に努め

る」

●子どもへのインフルエンザ予防接種助成については「小学生以下の予防接種を高齢者と同程度助成した場合多額の財政負担が見込まれ、現時点では助成は考えていない」

●下水道事業計画区域の拡大については、下水道部長は「南大分・荏隈地区は事業計画区域拡大の候補地の一つとして認識している」などの答弁でした。

家庭ごみ有料化にきっぱり反対

一市議会・厚生常任委員会

2日間の審議の結果、自民、社民、公明、大分市民、新市民のオール与党会派は、修正に値しない、修正案と家庭ごみ有料化条例原案に、委員会でも、本会議でも賛成しました。本会議で家庭ごみ有料化議案に反対した、新政クラブ、無所属（みんなの党）は、家庭ごみ有料化を実施しないよう求めた陳情2件の不採択に賛成し、一貫性のない態度をとりました。



11月1日からの家庭ごみ有料化の実施をやめさせる世論と運動を広げていきます。新しい署名を広げてください。

碩田中学校区の

3小学校の存続を求める請願

オール与党で不採択に、意見陳述も拒否

市議会への請願前に教育長にも、地元を中心に3千筆の同趣旨の署名も提出していました。

福岡議員は、市議会最終日の本会議で請願の意見陳述を拒否したことについて、文教常任委員長に質問し、大分市議会基本条例を尊重せよと要求しました。

暮らし・地域の問題など

ご意見・ご要望をおよせください。

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

